ATARI GAME OVER　アタリ ゲームオーバー (2014)

ATARI: GAME OVER

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国　アメリカ
時間　91分
公開情報 劇場未公開

【解説】
1980年代初頭にブームとなったTVゲーム機“ATARI2600”専用のゲームソフト「E.T.」は、スティーヴン・スピルバーグの同名大ヒット映画とタイアップして作られたが、ゲーマーたちから史上最悪のゲームとしての烙印を押され、製作元のビデオゲーム会社“ATARI社”の倒産を招いたといわれている。その「E.T.」の不良在庫が、アメリカ・ニューメキシコ州にある砂漠に大量に埋められているという都市伝説を検証すべく「X-MEN：ファイナル ディシジョン」の脚本で知られるザック・ペンがメガホンを取ったドキュメンタリー作品。“ATARI”に関わった様々な人に取材を試み、消え去ったクリエイターへのインタビューを行うことにより、その数奇な運命をたどってゆく。

【クレジット】
監督　ザック・ペン　Zak Penn
製作　サイモン・チン　Simon Chinn
　　ジョナサン・チン　Jonathan Chinn

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.